

2025年11月4日

Honda の英国現地法人であるホンダモーターヨーロッパ・リミテッド（本社：バークシャー州ブラックネル 社長：奥田 克久）は、現地時間 2025 年 11 月 4 日（火）10:00 に以下を発表しましたので、その内容をご案内いたします。

EICMA（ミラノショー）2025 出展概要

Honda は、イタリア・ミラノで開催されている EICMA 2025（ミラノショー、プレスデー：11 月 4 日～5 日、一般公開：11 月 6 日～9 日）に出展するヨーロッパ向け 2026 年モデルの二輪車ラインアップを発表しました。

- 新型「**CB1000GT**」は、ツーリングの快適性とスポーツツアラーの高いパフォーマンス性を融合し、充実した装備により、卓越したオールラウンドパッケージを実現しています
- 世界初公開となる「**Honda WN7**」（Honda 初の電動モーターサイクル）は、140km の航続距離、Honda ならではの走行性能、新たなデザイン美学、そして電動四輪車にも採用されている急速充電器との互換性を備えています
- Honda の電動二輪車のプロダクトマークと、プロダクトエンブレムとして新たなフォントを採用した「Honda」を初披露
- 「**V3R 900 E-Compressor Prototype**」は、電子制御過給機を搭載した独自の V 型 3 気筒エンジンを採用し、Honda の次世代エンジン開発の進化を示すモデルです。非対称デザインを採用した新たなプロトタイプの車体に収められています
- V3R 900 E-Compressor Prototype には、今後の ICE（内燃機関）搭載車のフラッグシップモデルに順次採用予定の新たなエンブレム「Honda Flagship WING」が初採用されています
- 「**XL750 TRANSALP**」「**CB750 HORNET**」「**NX500**」「**CBR500R**」「**CB500 HORNET**」の 5 モデルに初めて Honda E-Clutch をオプション設定し、Honda 独自のクラッチ自動制御技術の展開を拡大します
- 懐かしさと軽快さを兼ね備えた「**CB1000F**」もヨーロッパで初公開され、クラシックとモダンを融合した新たなネイキッドスタイルを提案します
- 「**GL1800 Gold Wing/Gold Wing Tour**」「**NC750X**」「**SH350i**」の新カラーバリエーションも同時に発表しました
- 欧州で人気の高いスクーター「**SH125i**」は、ローマに拠点を構える Honda R&D センターによる技術的アップグレードと新デザインを採用し、より洗練されたスタイルと利便性を実現しました

【出展モデルの主な特長】

■ Honda E-Clutch 搭載モデルを拡大

2024 年に「CBR650R」および「CB650R」に初搭載された Honda 独自のクラッチコントロール自動制御システム Honda E-Clutch を、新たに 5 モデルでオプション設定します。対象モデルは、XL750 TRANSALP、CB750 HORNET、NX500、CBR500R、CB500 HORNET です。

Honda E-Clutch は、クイックシフターを上回る高速かつスムーズなギアチェンジを可能にし、異次元のスポーティーなライディング体験を提供します。発進・停止・変速時にクラッチレバーを操作することなく、シフトペダル操作のみでギアチェンジが可能です。必要に応じてクラッチレバーを使用できるため、操作性と汎用性を両立しています。

Honda E-Clutch は、XL750 TRANSALP および CB750 HORNET シリーズのスロットル・バイ・ワイヤ (TBW) 搭載モデルに初採用。システムがスロットルを自動調整することで後輪速度に回転数を合わせ、よりスムーズなダウンシフトを実現します。XL750 TRANSALP では、オフロード走行時に後輪が空転している状況においても、スムーズなシフトアップを可能としました。Honda E-Clutch と TBW の連携により、前輪および後輪の速度を常時監視し、適切な制御を行うことで高い安定性と操作性を提供します。

Honda E-Clutch は、人気の 500cc クラス 3 モデル (CB500 HORNET、NX500、CBR500R) にも初めてオプション設定されます。スポーティーな走りとシンプルな操作性、そして高い汎用性を兼ね備えた Honda E-Clutch は、長年にわたり支持されてきた A2 ライセンス対応モデルに新たな価値を付加し、幅広いライダーにこれまでにないライディング体験を提供します。

■新型 CB1000F 登場

EICMA では、Honda スポーツバイクラインアップの「進化する基準」である CB の最新の回答として具現化した CB1000F を展示します。独自のキャラクターを備えたこの大型ネイキッドモデルは、扱いやすさと力強さを兼ね備えた一台です。CBR1000RR FIREBLADE 由来の高性能エンジンによる力強い走行フィールに加え、印象的なスタイリング、充実した装備、そして軽快なハンドリングを融合。あらゆる要素において期待に応えるオールラウンドなモデルとして登場します。

■多彩な新色も同時公開

クロスオーバーモデル NC750X、シリーズの主力スクーター SH350i、そして生産開始から 50 周年を迎えるフラッグシップツーリングモデルの Gold Wing、Gold Wing Tour の新たなカラーバリエーションも展示されています。

■ SH125i

欧州で高い人気を誇るスクーターSH125i は、2026 年モデルとして刷新されました。新デザインのフロントエンドは SH350i からインスピレーションを受け、よりシャープな外観と新しいシグネチャーライトを採用。さらに 4.2 インチ TFT モニターを搭載し、スタイルと機能の両面で進化を遂げています。SH150i 含めイタリア・アテッサ工場で生産される 3 モデルは、フロントからリアまでを貫く「ワンライン」デザインにより統一感を確立しました。これにより、SH シリーズの 2026 年モデルはその本質を守りながらも明確な進化を果たし、一目で認識できる存在感を示しています。

■ CBR1000RR-R FIREBLADE、CB750 HORNET“クロミ”コラボレーションモデル

Honda は、より多くの幅広い年齢層へ二輪車に興味を持つてもらうために、EICMA で株式会社サンリオの人気キャラクター「クロミ」とのコラボレーションを実現させました。EICMA 専用デザインを施した CBR1000RR-R FIREBLADE と CB750 HORNET を Honda ブースで展示します。CBR1000RR-R FIREBLADE にはクロミのイメージカラーであるブラックとパープルを基調とし、CB750 HORNET にはパープルとピンクをベースとし、それぞれクロミのかわいらしくて、かっこいいデザインを施しています。